

令和 5 年度		3 学年	商業 科		
教科名	商業	科目名	課題研究 (プロジェクトC ブライダル)		2 単位
		担当者			
<b>1. 学習目標</b>					
校外の協力者による講義を受け、地域の産業のひとつであるブライダル産業について理解する。商業科で学んできた知識・技術を加え、結婚式に関するイベントを企画・準備し、校外の実社会の中で実践する。コミュニケーションを重視し、地元で生き生きと働くイメージをつけ将来の仕事に前向きに向かえる力と態度を育てる。					
<b>2. 使用教材等</b>					
・教科書名 なし					
・副教材名 なし					
<b>3. 学習項目 (学習内容)</b>					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考查
1	4 5	外部講師による講義 (インプットの時期)	毎時間、幸せの森ブライダル協会の皆さんに仕事内容と仕事に向かう気持ちを中心にお話いただく。	13	なし
	6 7	実習・体験① (アウトプットの時期)	結婚式のプロデュースを企画する場合には、夏休み前に新聞等で告知活動を行う。	10	なし
2	8 9	実習・体験② (アウトプットの時期)	結婚式のプロデュース企画の概要、仕事内容の確認、その分担等を相談しながら決定する。実際の仕事内容を進める。	20	なし
	10 11 12	実習・体験③ (アウトプットの時期)	結婚式のプロデュース企画の場合には、最終的に結婚式を実施するところまで関わる。ブライダル協会の全面的な協力を得る。	20	なし
3	1 2 3	発 表 (アウトプットの時期)	1年間の課題研究のまとめをレポートとしてまとめる。さらに、校内外の研究発表会の機会があれば、対応する。	7	なし
<b>4. 評価の観点</b>					
①関心・意欲・態度	ブライダルに関する諸課題について関心をもち、実習にあたっては主体的に取り組むとともに、人の幸せを求め自分ができる精一杯をやるうとする態度をもつ。				
②思考・判断・表現	ブライダルの課題を通して、人の幸せのために働くという考えや体験を大切にす。そのための思考力、判断力、表現力を磨こうとする。				
③技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。				
④知識・理解	ブライダル関係の知識・技術だけでなく、人の幸せを考えて行動するとはどういうことかを理解している。				
<b>5. 評価の方法</b>					
・定期考查： なし					
・課 題： 活動日誌、活動計画書、活動報告書、報告書					
・授業態度： 日頃の授業への取組状況、出席状況、諸行事への出席状況、主体性、積極性を評価する。					
<b>6. 学習にあたっての注意とアドバイス</b>					
「やっちゃえ赤穂！」とは失敗を恐れず「まずやってみよう！」という意味。考えをまとめ実際に動く（活動する）ことが重要。土日祝祭日に活動することもあるので注意。ブライダル協会の皆様の援助のもと、任せてくれた新郎新婦の幸せを考えて喜ばれる活動をしよう！					